

2021年度(令和3年度)学校評価自己評価表

城南中学校区	校番 38	福山市立多治米小学校
最終更新日		2021年(令和3年)4月1日

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

<p>前年度学校関係者評価の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども主体の学びに向け、子どもが主体的に学ぶ場を意図的に設定していくことを続けてほしい。 教職員の元気＝児童生徒の元気である。一人一人が個性的な時代であり、全員(教職員及び児童生徒)が充実した時間になるよう努めてほしい。 	<p>児童生徒の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の授業や行事等を通して、児童生徒自身が、学び方を決定したり、企画等を考え・実行したりしている。 児童生徒の「なぜだろう」「やってみよう」といった意欲が向上している。 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見する力(課題を見つける) 対話する力(コミュニケーション) 認める態度(人としての思いやり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる児童生徒 様々な課題を自ら求め、お互いの意見を尊重しながら対話による課題解決を図る主体性を持つ児童生徒 <p>○「学校・子どもはこうあるべきだ」といった価値観や固定観念を問い直す</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な価値観で子ども一人一人の学ぶ姿をみる。 <p>○自分が“考えて、決める、選ぶ”</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で方法を決めて課題解決に取り組んだり、議論したりする。
--	--	--	--

III 自校

<p>ミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> かけがえのない一人ひとりを取り残さない 子どもとともに創る 	<p>育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)</p> <p>めざす子ども像</p> <p>課</p> <p>対</p> <p>認</p>	<p>問題解決力・対話する力・認める態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 明確な目標を立て、目標に迫る方法を自ら考え、最後まで取り組むことができる子 自分の意見を持ち、根拠を持って相手に伝えることができる。(自己表現力) 自分の考えと比べながら相手の話を聴くことができる。 自分に自信を持ち、相手の思いや立場を尊重し、互いに高め合うことができる。
<p>学校教育目標</p> <p>自ら考え学ぶ子</p>	<p>テーマ</p> <p>研究</p> <p>内容等</p>	<p>一人一人の学びを促す教師の役割</p> <p>教科の本質を追求する授業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 「なぜだろう。」「やってみよう」という意欲を大切に授業 自分の考えを持ち、根拠を持って話し合う授業 教科・単元の本質に向かって、一人一人が学び続ける授業 児童が「考えて、決める、選ぶ」場のある授業
<p>現状</p> <p><児童></p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の授業や児童会活動を通して、児童自身が学び方を決定したり、企画等を考え実行したりしている。 「なぜだろう。」「やってみよう」という意欲はある。 「わからない」ことは「わからない」と言える児童は増えてきた。さらに、自分の意見を自信をもって発信する力を伸ばす。 友だちと共に活動することを楽しむ児童が多い。さらに自分とは異なる意見や行動に対して認め合える力を伸ばす。 <p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の学びを促す授業を行うために、教科・単元の本質を追究していく。 個に応じた多様な学びを保障するため、児童が「考えて、決める、選ぶ」場のある授業を創る。 	<p>めざす授業の姿</p>	

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立多治米小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
2 0 ~	主体的・対話的 で深い学びの 推進	★	継 続	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜだろう。」 「やってみたい。」という意欲 を大切に授業の創造 自分のこれまでの 経験や知識をもとに話し合い、 考えを広げたり 深めたりする授 業の創造 	<ul style="list-style-type: none"> 年間一人1回以 上、「認知のしく み」から学習方法 を見直す授業研 究を行う。 学校全体で読書貯 金に取り組む。 「子ども主体の学 び」の実践を掲示 し、学校全体で共 有する。 「学びの足跡」を 持たせ一人ひと りが自分の課題 や伸びを認識で きるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「友 達と話し合うこと で、自分の考えと相 手の考えを比べな がら聞いたり、新た な考えをもったり することができる。 」の肯定的評価 を95%以上。(昨年 度89.9%) 								
2	自分に自信を 持ち自他を敬 う児童の育成		継 続	<ul style="list-style-type: none"> 児童自らが気づ き考え実行する 児童会活動の推 進 	<ul style="list-style-type: none"> 各担任が工夫し、 当番活動、係活 動、委員会活動の 充実を図る。(学活 ノートの活用) 学校全体で「あり がとう活動」に取 組む。(なかよし 宣言のふりかえ りを改善) 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「自 分には良いところ がある」の肯定的評 価を80%以上。 (昨年末76.5%) 								
2	心身を鍛え、生 活を律する児 童の育成		継 続	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を自 分でマネジメント できる力の育 成 	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠の大切さを考 え理解した上で、 児童自身が就寝 時刻を設定する。 月ごとに振り返 りを行い、自分の 生活リズムの改 善につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート「自 分の生活の課題を 見つけ、目標を立 て、自分で考え実 行することができ たか。」の肯定的評 価85%以上。 (昨年度79.2%) 								